

土地境界図作成上の注意事項

土地境界図の作成は、別紙「土地境界図作成例」を参照の上、下記事項に留意し作成してください。

1. 表題部については別紙例によることとし、代表地番を記載する。
2. 用紙は日本工業規格 A列1判、2判とし、強靱な和紙とする。
3. 縮尺は、原則として 1/250 とする。
4. 寸法は、算用数字を用いる。
5. 座標値から寸法を計算する場合、境界線及び幅員の寸法はm（メートル）単位とし、1/100未満は切り捨てて表示する。
6. 境界点はP、引照点はS、機械点はT、の記号を用い、成果表を設けて各点の座標値（任意でも可）を明記する。
7. 引照点は明確な永久構造物を用い、後日境界点復元に必要な点数とする。
8. 境界点（P）は詳細図を記載する。また、引照点が図面上わかりにくい場合も同様とする。
9. 図面の位置取りは、北を上向きとし、方位は北方向に矢印等を記入する。
10. 境界線に接する地番は、算用数字を用いる。
11. 作成者欄は、作成者が記入し押印する。
12. 凡例については、別紙による。

※申請書等は長期保存に耐えられる用紙を使用する。

また、印字に使用するインク類も長期保存に耐えられるものを使用する。